

冬の指標種一覧

アプリでいきもの調査の対象となる冬の指標種は以下の種類です。
次のページ以降の、指標種の写真と特徴を参考に探してみましょ。特にホトケノザとオオカマキリの卵は「身近な種」であり、皆さんの身の回りでも簡単に見つけることができます！

分類	指標種	見られる場所	難易度
植物	ホトケノザ	路傍・畑	☆
昆虫類	オオカマキリの卵	草地、林縁	☆☆
哺乳類	アライグマ	森、畑、川、市街地	☆☆☆
	カヤネズミ（球巣）	背の高い草地、河川敷	☆☆☆☆
鳥類	コゲラ	森、樹上	☆☆☆
	モズ	草地、河川敷	☆☆☆
	コサギ	川、田んぼ	☆☆
	カワセミ	川、公園の池	☆☆☆
	シジュウカラ	森、公園、市街地の林	☆☆
	ミヤコドリ	干潟、海岸	☆☆☆☆
	ダイゼン	干潟、海岸	☆☆☆☆

指標種の見つけ方・特徴

ホトケノザ



- ◆ 畑地や道ばたによく見られるシソ科の植物。
- ◆ 高さは10cm～30cm。
- ◆ 紫の唇形状の花をつける。開花時期は3月～5月だが、冬の時期でも見られる。
- ◆ 春の七草のホトケノザはコオニタビラコであり、この種ではない。

オオカマキリ(卵)



(比較)
チョウセンカマキリ



- ◆ 大型のカマキリ。冬の時期には卵を見ることができる。
- ◆ 枯れたススキやイネ、セイダカアワダチソウなどの植物の茎でよく見られる。
- ◆ 4センチ前後と、カマキリの卵で最も大きく、丸みを帯びているのが特徴。チョウセンカマキリの卵は細長い形状。

指標種の見つけ方・特徴

アライグマ



- ◆ 雑食の中型ほ乳類。
- ◆ 特定外来生物に指定されている。
- ◆ 夜行性で、森林、湿地、農耕地、市街地に生息している。
- ◆ 灰褐色の体毛と、目の周囲の黒い模様が特徴。長いしっぽに黒い輪模様がある。

水路に残ったアライグマの足跡



- ◆ アライグマは足跡が特徴的で他種と見分けが付きやすい。
- ◆ タヌキやイヌの足跡と違って、アライグマの足跡はヒトの手形のように5本の指と手のひらがくっついた形状になる。
- ◆ 足跡は水路沿いの砂地、畑の土などに残りやすい。

指標種の見つけ方・特徴

カヤネズミ(球巣)



- ◆ 背の高い草地に生息する小型のネズミ。生体は発見が難しい。
- ◆ 高さ約70cmのところに草を集めた球状の巣を作る。ススキ、チガヤ、エノコログサ、スゲ類が巣材。
- ◆ 河川敷や、低地の草地、農耕地、沼地など植物が密生し、水気のある場所が狙い目。

コゲラ



- ◆ キツツキの仲間の鳥類。全長は約15cm。
- ◆ 昼行性で、樹木の多い公園にも生息している。細い幹や、小枝を好む。
- ◆ 「ギー」という低い声を出す。
- ◆ シジュウカラ類と群れになって後方からついていく。
- ◆ 硬い羽軸のある尾羽を幹にピッタリつけて、両足と尾羽の3点で体を支えている。尾羽を木の幹につけているのが特徴。

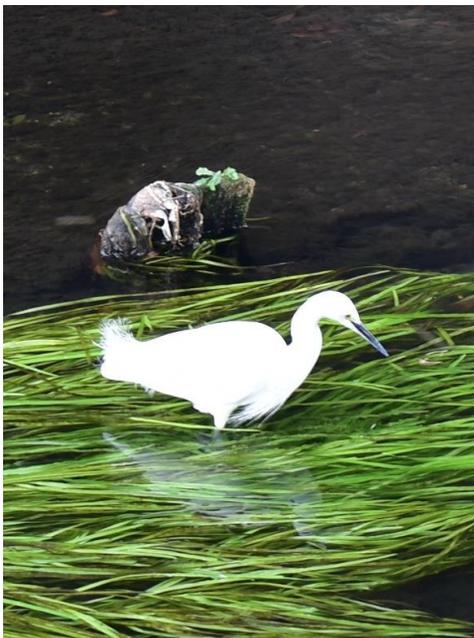
指標種の見つけ方・特徴

モズ



- ◆ スズメより一回り大きい鳥類。全長は約20cmで太めの体型と細長い尾が特徴。
- ◆ 疎林、林縁、木のある草地、農耕地、公園、畑地に生息している。尾を上下に振り、獲物を待っている。
- ◆ 「キィー」という高鳴きをする。
- ◆ 枝や有刺鉄線で、はやくにえを見ることができる。

コサギ



- ◆ サギの仲間の鳥類。サギ類の中では最も小型で全長は約60cm。
- ◆ 昼行性であり、水田、河川、湖沼、湿地、干潟に生息していて、魚類や、両生類を採食する。
- ◆ 体が純白であるのに対して、くちばしが黒色、足先が黄色であるのが特徴。

指標種の見つけ方・特徴

カワセミ



- ◆ 水辺に生息する鳥類。全長は約17cmでスズメよりやや大きめ。
- ◆ 大きくなくちばしと、青色と橙色の体色が特徴の人気の鳥。
- ◆ 2月～3月は繁殖期となり、活動が活発になる。
- ◆ 魚や水生昆虫を餌とする。川辺の木の枝や欄干に止まって獲物を探す姿が見られる。

シジュウカラ



- ◆ 日本で最もよく見られる野鳥の一種。全長は約15cm。
- ◆ 市街地から森林まで広範囲に生息している。6匹以下の小さな群れをつくる。
- ◆ 昆虫類やクモ類、木の実をを餌とし、地上で採食する。
- ◆ 胸から腹にかけてあるネクタイのような太い黒い線が特徴。

指標種の見つけ方・特徴

ミヤコドリ



- ◆ 海岸や砂浜で見られる鳥類。全長は約43cm。
- ◆ 千葉県には越冬のために来る。
- ◆ 体の上面が黒色で、下面が白色、くちばしは長く、赤い、足はピンクという特徴的な配色をしている。

ダイゼン

(冬の姿)



- ◆ 海岸や砂浜で見られる鳥類。全長は約30cm。
- ◆ 砂泥質の干潟、湿地、水田に生息している。
- ◆ 黒と白のツートンカラーの鳥だが、夏と冬で黒の配分が異なる。夏は顔から腹にかけて黒くなるが、冬はわきの下が黒く腹は白い。
- ◆ 砂浜や干潟でゴカイを食べる姿が見られる。